



すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

ながさきの犬や猫の殺処分数をゼロへ ～動物殺処分ゼロプロジェクト～

本県では年間1,000頭近くの犬や猫を殺処分しなくてはならない状況にあり、この現状を打開するため、令和11年度までに「動物殺処分ゼロ」を目指すプロジェクトを始めました。殺処分ゼロの実現に向けた重要な3つの柱について紹介します。

【入口対策】収容される動物の数を減らします

収容される動物の多くは、野良の子猫です。収容せざるを得ない野良猫の数を減らすため、県内各地で地域猫活動を進めていきます。

地域猫活動とは

地域住民が主体となって、地域に生息している野良猫の不妊・去勢手術を行い、餌のやり方やふんの始末などに関するルールを定め、お世話をする猫が命を全うするまで地域で見届ける活動です。



野良猫に困っている方にもこんなメリットがあります

- ✓ 餌を管理するので、ゴミあさりが少なくなります
- ✓ トイレを管理するので、ふん尿の被害が軽減します



不妊・去勢手術が終わった猫は片耳の先端がV字型にカットされている

県では、地域猫活動への助言や不妊・去勢手術の助成を行っています。「やってみたいけど、何から始めたらいいかわからない」という方は、まずはお近くの県の保健所にご相談ください。

【出口対策】収容された動物の譲渡を推進します

哺乳などのお世話が必要な子犬・子猫を、譲渡ができる月齢までボランティア団体と協力して育て、新しい飼い主をウェブサイト上で探したり、譲渡会を開催したりします。

また、新たな拠点となる「長崎県動物愛護管理センター（仮称）」の設置について検討していきます。



譲渡会の情報は、ウェブサイト「ながさき犬猫ネット」で確認できますよ。



【県民との連携】動物殺処分ゼロに向けて一緒に取り組みましょう

本年4月に施行した「長崎県動物の愛護及び管理に関する条例」では、動物を適正に飼うために守るべきルールや野良猫への餌やりのルールなどを定めたほか、多頭飼養の届け出が義務化されました。

この条例や動物殺処分ゼロに向けた取り組みについて、県民の皆さんに理解を深めていただくため、学校での学習プログラムや多頭飼養解決に向けた研修会などを実施していきます。

人と動物が共生する住みよい社会を実現するため、一緒に取り組んでいきましょう！

